

2015年度 第4回 常務委員会議事録

日 時：平成 28 年 2 月 15 日（月）18 時～20 時

場 所：（株）国際文献社

出席者：牧野泰彦・松森靖夫・米澤正弘・青木秀則・宮下 治
・小関純一・伊藤 孝・清水政義・中林俊明・高橋 修
・加藤尚裕

議事録の確認

・2015年度第3回常務委員会議事録（2015.12.14）の確認を行い、了承された。

議 題

1．常務委員でのテレビ会議等について

高橋常務委員より国際文献の会議室にはテレビ会議システムの設備は整備されていない旨の報告があり、本学会で整備する予算もないことから、この件については、これ以上検討しないことになった。

2．評議員（会）の責務・再編などについて

2015.4.30付けで了承された評議員（会）の責務・再編等に関する日本地学教育学会々則の今後の取り扱いについて話し合わせ、2016年度総会で承認を得た後に、各支部の活動を計画・実施してもらう旨、了承された。

3．「除名」について

2014年度第1回常務委員会議事録に掲載された除名者から「除名」という扱いに関する問い合わせがあり、会則第8条の内容を検討した結果、「除名ではなく、会則により除籍に修正する」ことが了承された。なお、本学会のホームページの常務委員会議事録も訂正することになった。

4．『地学教育』誌における論文種別の整理・追加について

伊藤編集委員長より、編集委員会からの提案について説明があった。現状の「原著論文」と「教育実践論文」はあわせて「原著論文」に整理・統合、「資料」は「資料論文」に名称変更、そして新たに「実践」を追加、という修正案である。検討の結果、問題点を整理しつつ継続審議していくことが了承された。

5．J-Stage を介した一般への『地学教育』掲載論文の開示猶予期限について

伊藤編集委員長より，本学会の状況，登録申請への流れの説明があり，かつ J-Stage 公開規定に関する編集委員会からの提案について検討を行った。結果，J-Stage 論文公開にパスワード等は設けず，会員・非会員に広く公開すること，ただし，『地学教育』誌出版後 1 年間は冊子態のみとし，1 年後 J-Stage にアップロードし閲覧できるようにすること，が了承された。

6．日本地学教育学会ロゴマーク取扱内規（案）

宮下広報委員長より，ロゴマーク取扱内規（案）が提案され，審議した結果，下記の内容が了承された。また，本学会ホームページなどで公表することとした。

日本地学教育学会ロゴマーク取扱内規

平成 28 年 2 月 15 日
常務委員会決定

(目的)

第 1 条 この内規は、日本地学教育学会(以下「本学会」という。)のロゴマーク及びロゴマークの使用について必要な事項を定めるものとする。

(ロゴマーク)

第 2 条 ロゴマークは、本学会のシンボルであり、使用に当たっては、本学会の尊厳及び品位を損なってはならない。

2 本学会のロゴマークの形状等は、別図のとおりとする。

3 ロゴマークの形状は、改変してはならない。

(使用範囲)

第 3 条 ロゴマークの使用範囲は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 本学会の大会・シンポジウムなどの行事
- (2) 本学会が発行する印刷物(ホームページ等を含む)
- (3) 本学会が作成する文具類等の物品
- (4) その他、常務委員会が適当と認めるもの

(使用手続)

第 4 条 ロゴマークを使用するときは、予め広報委員会に申請し、常務委員会の許可を得ることを要する。

(許可の取消し等)

第 5 条 ロゴマークの使用に当たり、この内規に違反し、又はロゴマークの使用の趣旨に反すると認められるときには、常務委員会は、当該使用者に対し許可の取消その他適切な措置をとることができる。

(改廃)

第 6 条 この内規の改廃は、常務委員会が行う。

附 則

この内規は、平成 28 年 2 月 15 日から施行する。

【別図】



7. 入試センター試験「地学」の取り扱いについて

青木秀則氏が大学入試センター試験の地学問題に関する学会の意見をまとめた内容を、牧野会長が大学入試センターへ申し入れをする旨、了承された。

8. 2016年度役員選挙について

「役員選挙についての細則」に基づいて、2016年度役員（会長、副会長、評議員および監事）の選挙を行うにあたり、会員へ役員候補者の推薦をお願いする文書を審議した結果、提案文書が了承された。また、選挙管理委員会の委員長として、高橋修氏を選任した。

9. 入会者・退会者について

入会者・正会員：平田泰之（東山中学・高等学校）

退会者：なし

10. その他

(1) 広報活動について

宮下広報委員長より、下記の内容が提案され、審議の結果、すべて了承された。

本学会ホームページの「お知らせ」欄と「学会からのお知らせ」欄に同じものが掲載されているので、整理していく。

本学会ホームページのはじめの画面に、地学に関する学習活動をしている子どもの写真や学会ロゴマークを入れる。

『地学教育ニュース』が学会誌「地学教育」に掲載された後、本学会ホームページで公開する。

年に1～2回の現地研修会に関する広報活動を行っていく。

報告

1. 各種常置委員会から

(1) 広報委員会

メール配信を拒否していない会員に対して、学会行事（大会など）や地学教育関連ニュースなどを『メールニュース』として送信していく。「平成 28 年度全国地学教育大会 日本地学教育学会第 70 回全国大会（一次案内）」の概要を送信していく旨の報告がなされた。

現地研修会に関する広報について

- ・対象；会員・非会員を問わない
- ・予定日時；平成 28 年 9 月後半の土曜日、午後
- ・集合場所；調布駅前
- ・講師；藤平秀一郎氏（会員）
- ・研修場所；野川周辺
- ・旅行保険；加入する（参加者負担）

2. 寄贈交換図書

- ・GSJ 地質ニュース，vol.4,no.12,2015;vol.5,no.1,2016，産業技術総合研究所地質調査総合センター
- ・理科の教育，vol.65，nos.1,2,2015,日本理科教育学会
- ・地学雑誌，vol.124，no.6,2015,東京地学協会
- ・香川県高等学校教育研究会，理化・生地部会会誌，vol.51,2015,

3. その他

(1) CSERS の報告

清水政義氏より，2016 年度シンポジウムと 11 月の議事録の報告があった。

* 次回 2015 年度第 5 回常務委員会 4 月 25 日（月）開催